

## 秋のバス巡検は11月7日 伊能忠敬ゆかりの佐原(香取市)探訪

平成27年第2回巡検のご案内(仮申込は9月中)

日 時:平成27年11月7日(土) 35名限定!

場 所:香取市(旧佐原市)市街他

ご案内:鈴木純子氏(予定)

参加費:6,000円(予定:入館料・資料・保険等含む)

伊能図で有名な伊能忠敬ゆかりの佐原を探訪します。

ご案内は伊能研究で有名な鈴木純子氏にお願いする予定です。

ルート:新宿・工学院前(8:15)～酒々井PA～伊能忠敬記念館…伊能忠敬生家…昼食…佐原伝統的建造物群保存地区…山車会館～観福寺～香取神宮(時間によっては鹿島神宮も見学します)～幕張PA～新宿(18:45位)(…は徒歩、～は観光バス、現在ルート調整中)

雨天決行。交通事情などによりルートや見学の順番が変更になる場合があります。

お申し込みの方には10月中旬に集合場所等の書類を郵送致します。

高速バスや域内交通利用よりもお得な内容です。

★詳細はホームページをご覧ください(8月中旬開設予定)。

## 展覧会情報

### 鉄道遺構・再発見

期 間 6月5日～8月18日(大阪)

9月3日～11月21日(東京)

会 場 LIXILギャラリー

電 話 06-6733-1790(大阪)

03-5250-6530(東京)

### 地図と写真で見る馬車道

期 間 7月11日～8月30日

会 場 神奈川県立歴史博物館(横浜市中区)

電 話 045-201-0926

### G空間EXPO 2015

期 間 11月26日～28日

会 場 日本科学未来館(東京都江東区)

## mini地図NEWS

### 「地盤サポートマップ」を無償公開

戸建住宅の地盤調査や地盤環境診断業務などを手掛けるジャパンホームシールドはこのほど、「地盤調査・解析実績100万棟感謝キャンペーン」として、「地盤サポートマップ」をWebで無償公開しました(<http://jhs.supermap.jp/>)。

住所などから地域を検索し、その場所の「地耐力」を4段階(「強い地盤」「やや強い地盤」「ふつうの地盤」「弱い地盤」)でチェックできます。掲載されているデータはすべて実際に地盤調査が行われたスポット(図1)。

地震時の揺れやすさや液状化の可能性、土砂災害危険箇所なども確認できるほか(図2)、学校の校区や避難所の位置もチェックできます。また、地図上で任意の場所を右クリックすれば、その土地情報を見ることもできます。スマートフォンやタブレットからもアクセスできるので、一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。

(ITmedia他)

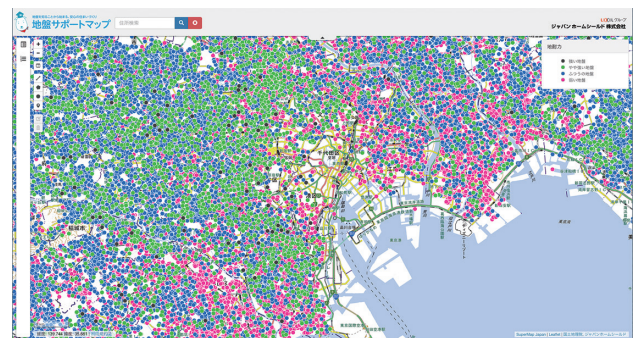


図1 地盤の強度が4段階で表示される

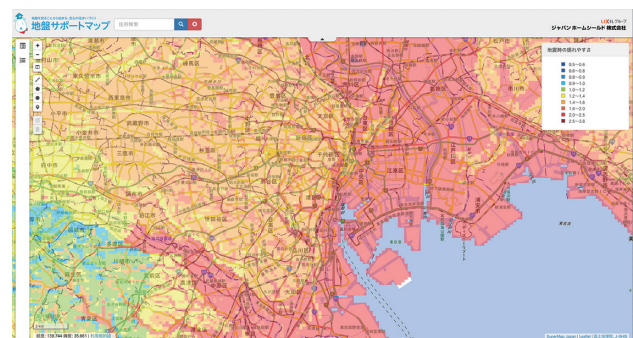


図2 地震時の揺れやすさなども表示できる



地図 絡み

第62回 日本周辺海底地形図集

(徳間書店 '15.2刊 加藤 茂・伊藤 等監修)

帝京大学理事 井口悦男

待ち望まれた、日本の地形中心地図帳が、ようやく今回、徳間書店版として世に出た。地図帳と言うと、従来、小・中・高校を通じ教科書副読本扱いであるが、世界それぞれの地域あるいは国別基本図書とされる故か、図書としての規模に従う、地誌表示におよその各地地形表現図という定版を年度毎に改め、そしてそれら図描を繰返えす方式であった。

これに対応する形の図は、なぜか、見当らないといって過言ではなかった。見られるとすれば、それは、地誌的表現例の間に、特殊地形例が、まとめて一括方式で表示されるに止まった。明らかに全体的集落分布、あるいは広い地形変化に対し、特殊地形例は脇役扱いとして顔をのぞかせていたにすぎない。

今回その状況を改め、図描の主役に、片隅取りまとめ扱いではなく、特殊地形別に見開きページあるいはそれ以上に、かつ、絵と文を十分活用し、分り易く表現する手段を取り込み、小学生から大人に至る、諸段階の知恵に訴える抜きん出た図描、それは一見省略化を施しすぎにも見えることで果たせた見事さに感嘆する外ない。平易さのなかに、専門性を十分表現している。

それにしても、日本列島周辺の海底地形、その特色別項目に大別し表示している「第1巻」各項は、それぞれの要点をよく掴んでいて、例えば日本海の成立について、小さな湖をあげることからはじめ (p.26、27)、通常海水を深く湛えている所から、その海底状況は見られない部分毎の個性的、特色を取り上げる。

「長さ3850kmの深い溝」として、千島・カムチャツカ海溝～日本海溝～伊豆・小笠原海溝 (p.14) に対し、巨大な海底山脈 伊豆・小笠原弧 (p.16) 深くて平らな海底盆地 北西太平洋海盆 (p.18) とを対比させ、海底別に区分表現することからはじめ、各種別例を次々にその位置を含め表示する。駿河湾と相模湾の伊豆半島をはさみ込んだ深海に続く、同様に海岸から急に深くなっている日本海側の富山湾には、ホタルイカ、白エビなど特異生物生息域となっているほか、日本海中部域に存在する巨大な浅瀬「大和堆」(ヤマトタイ) にもなう海底生物の豊かさを物語る「ベニズ

ワイガニ」群、その一方、日本海側津波の高度と速度の片寄りの出現など、近頃発生した三陸沖地震そして津波に関連し、触れられるようになり、地域情報に組み込まれることとなったことは見逃せない (p.57、図)。

以上の海底地形分類から日本地形の特色を明らかにするに止らず、さらに、あと2冊、陸地の川、湖、海岸の地形 (第2巻)、島々の地形 (第3巻) 各冊を加えることで、日本列島全体に及ぶ、これ迄触れること少なかった部分にも達する目の細かさである。

(15.7.20)

「ビジュアル地形案内1 日本列島、水をとったら? 海の底にも山がある! 海底地形 (p.57)」徳間書店、加藤 茂、伊藤 等監修。同シリーズは「2 見えてくる! 陸地のデコボコやギザギザ 川・湖・海岸の地形」、「3 島は山のでっぺん 島の地形」も刊行中。